

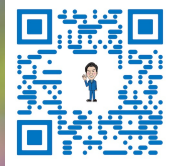
# 津久見市の 身の丈に合った 新庁舎を!

# 石川まさし

TEL&FAX 0972-82-5122

MAIL tsukumi.ishikawa@gmail.com

最新情報は石川まさしホームページにアクセス →



つくみんレポート 第3号

発行：津久見の未来を一緒につくる会

## 人口減が続く津久見市に40億庁舎は必要なのか?

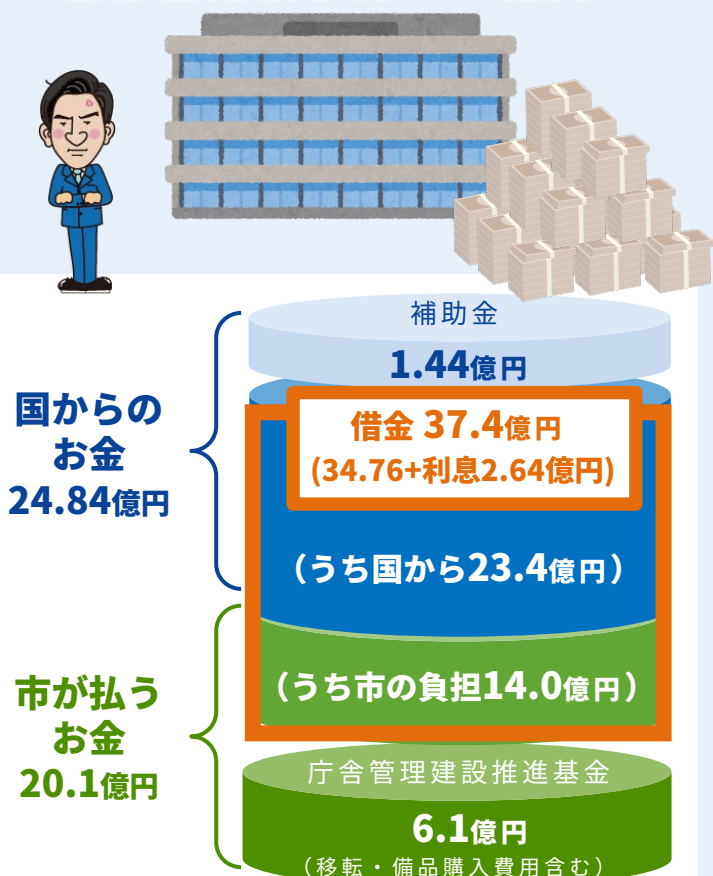
私は新庁舎に対しては、**第二中学校を活用し基金6億円を元金にしてできる限り金額を抑えた新庁舎**とすべきと考えています。そして真に市民の判断を仰ぐため、**第二中学校を活用した方法**を試算したうえで現在の計画との2択で住民投票を行うべきと考えています。

22年後には人口が8,000人以下になることを頭に入れながら新庁舎のことを考えるべきです。30数億円という**多額の借金をしてまで津波災害の心配がある海岸沿いに建つ新庁舎**を市民は本当に望んでいるでしょうか?

入札は来年になるようですので、この大事な問題を**もう一度市民で議論するべき**です。行政は手続きを踏んだと説明していますが、計画の進め方や場所に対して疑問を持つ声を多くいただいています。

### 現在の計画

#### 新庁舎建設予算**45**億円

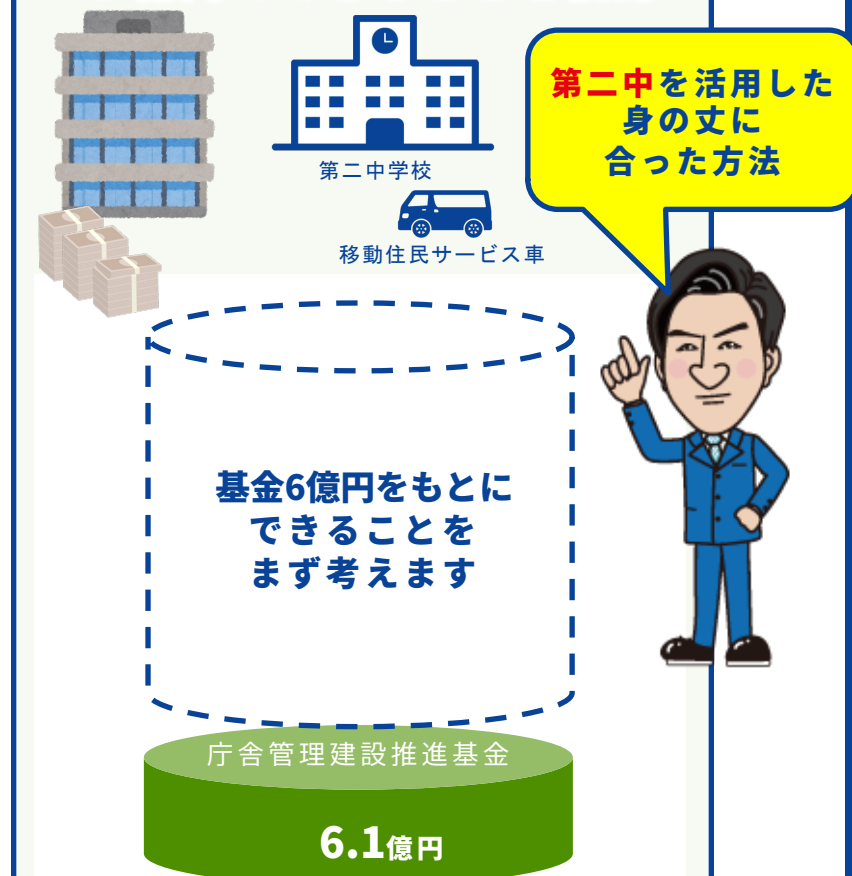


総額約**44.94**億円 ※市の借金14.0億円 (年0.70億円×20年。利息含む)

※金利計算により数値には市の試算と若干の差があります

### 石川の考える方法

#### **6**億円でできることを検討





# 石川まさしの<3つの考察>



## 考察1 必要面積は？

延べ床面積の比較	
【現庁舎】	① 本館（築65年） <b>2099.9 m<sup>2</sup></b>
	② 別館（築65年） <b>1028.4 m<sup>2</sup></b>
	③ 新館（築47年） <b>1040.3 m<sup>2</sup></b>
【第二中学校】	④ 校舎（4階建） <b>1826.0 m<sup>2</sup></b>
	⑤ 校舎（2階建） <b>1029.2 m<sup>2</sup></b>

①+②は④+⑤と同規模。つまり、①、②はほぼそのまま第二中学に移設できる計算になります。その上で、2つの校舎に収まりきれない部分となる③新館と同程度の面積を確保できれば、現状の機能は果たせるのではないのでしょうか。追加の建物は、第二中学敷地内や現在の建設予定地に分散して新築することも選択肢です。何をどこに配置するかは皆さんと一緒に考えたいです。



## 考察2 移動住民サービス車両を導入

鹿児島県曾於市ですでに導入されています。10人乗りワゴン車を改造して住民票印鑑証明、各種手続きなどの窓口業務にほぼ対応できます。保健師による健康相談も可能で、独居高齢者の見守りにもつながります。1台約1,150万円。大きな「箱」を造るより、「動く市役所」として津々浦々を巡回したほうがサービス向上につながるのではないのでしょうか！



実際の移動住民サービス車（2023.9）



## 考察3 現在地の後利用

現在の市庁舎は民間から賃借した土地に建っています。移転後は民間に任せっきりにするのではなく、竹田市や鹿児島県鹿屋市の例があるように民間の資金を活用したPFI方式による賃貸住宅整備を検討します。子育て世代が住みたいと思う住宅政策で少子化対策にも貢献できるはずです。また、建物内に各種医院ほか医療機関も誘致できれば、高齢者にとっても安心な医療体制の提供につながります。

\*PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアチブ）

民間の資金と経営能力・ノウハウを活用し公共施設等の設計、建設、維持管理・運営を行う公共事業の手法

【鹿児島県鹿屋市の事例】※内閣府HP「PPP/PFI事例集」より



民間の放課後学童施設（アフタースクール）と、子育て世帯を対象としたママカフェ等を誘致。

【竹田市の事例】



竹田市の事例では、人口減少傾向が続く市中心部において、子育て世代が入居することにより地域人口の増加と少子化対策に効果が出ています。

# 本当の市民の声を聴くために、住民投票を実施します

鹿児島県垂水市は、市役所移転計画の是非を問う住民投票を、市長提案により2020年8月に行いました。

垂水市住民投票	垂水市	津久見市
賛成4080票（48%） 反対4424票（52%） （投票率68.83%）	12,770人 (令和5年9月1日現在推計)	15,492人 (令和5年8月末日現在)
	約43億円	約45億円
	総事業費	

【公共工事の是非を問うた住民投票の例】 出典：21.5.27日経アーキテクチャから抜粋

自治体名	提案者	実施年月	争点	投票率	投票結果
鹿児島県垂水市	首長提案	2020.8	市庁舎移転新築計画の是非	68.83%	反対多数
山梨県南アルプス市	直接請求	2016.3	新庁舎の建設の是非（移転新築案と増改築案の二者択一）	49.92%	増改築案が多数
沖縄県石垣市	議員提案	2016.2	新庁舎の建設位置（移転新築案と現地建て替え案の二者択一）	39.05%	移転新築案が多数
沖縄県竹富町	議員提案	2015.11	町役場の建設位置（石垣市内と西表島・大原の二者択一）	80.25%	西表島・大原が多数
大阪府和泉市	議員提案	2015.11	新庁舎の建設位置（移転新築案と現地建て替え案の二者択一）	48.82%	移転新築
愛知県新城市	議員提案	2015.5	新庁舎建設計画の見直し方法	56.23%	規模縮小が多数
長崎県壱岐市	首長提案	2015.4	新庁舎の建設の是非	63.67%	反対多数

垂水市の庁舎は、津久見市と同じように海沿いの土地に建設予定でした。基本計画当初に比べ、実施設計時点で約6億円のコスト増となっていました。予算可決後に、市長が市民の判断を仰ぐため住民投票を実施し、計画を白紙にしました。

さて、津久見市はどうする？**私はもちろん住民投票で市民の声を聴くべきだと考えています！**



垂水市建設予定地（2023.9）



垂水市現庁舎（2023.9）

# 変わる勇気と変える覚悟